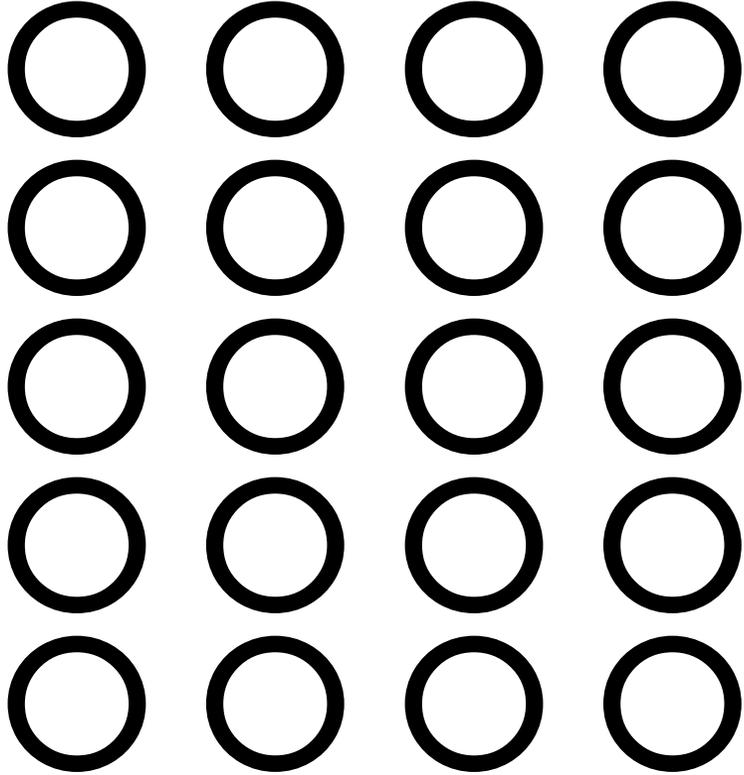
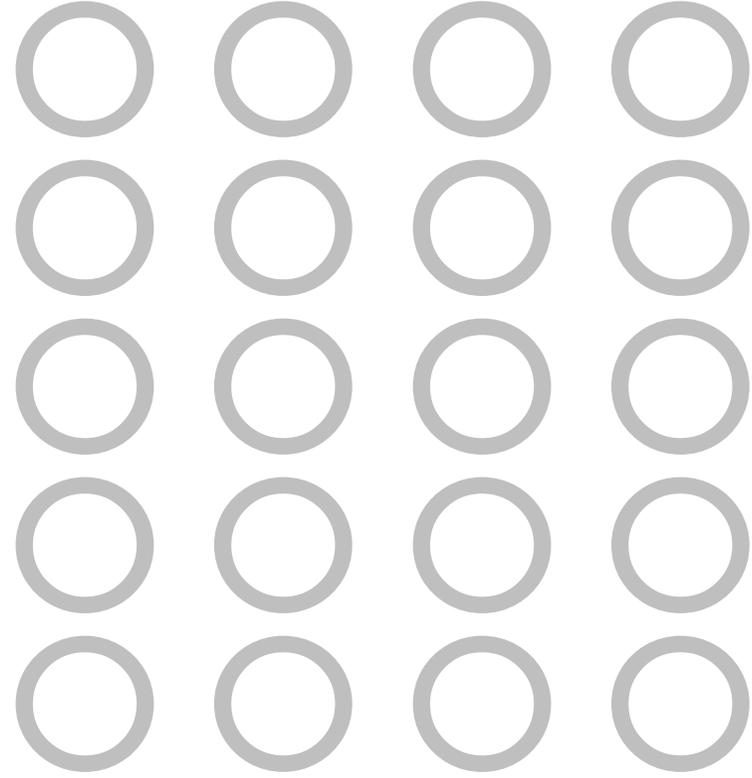
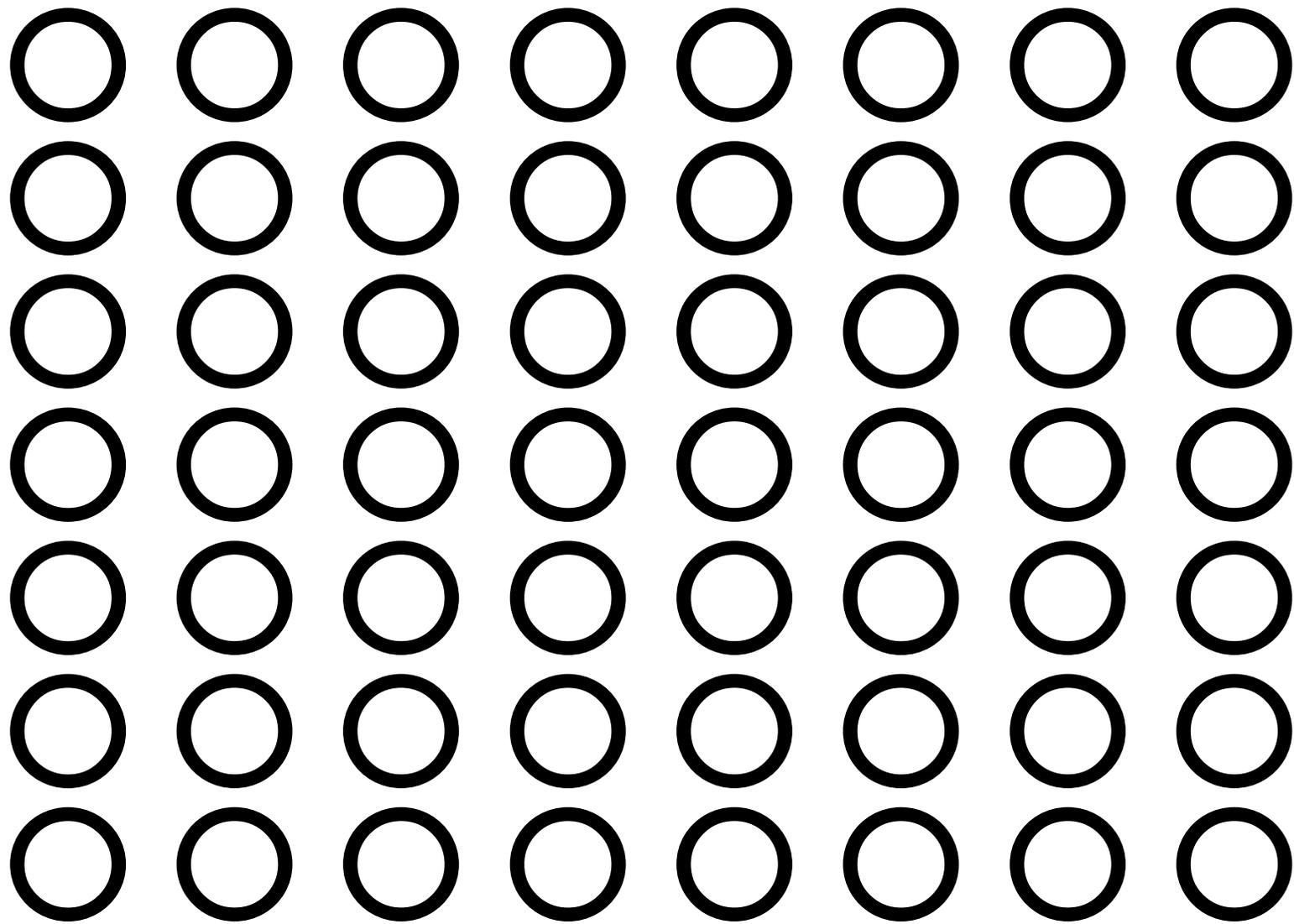


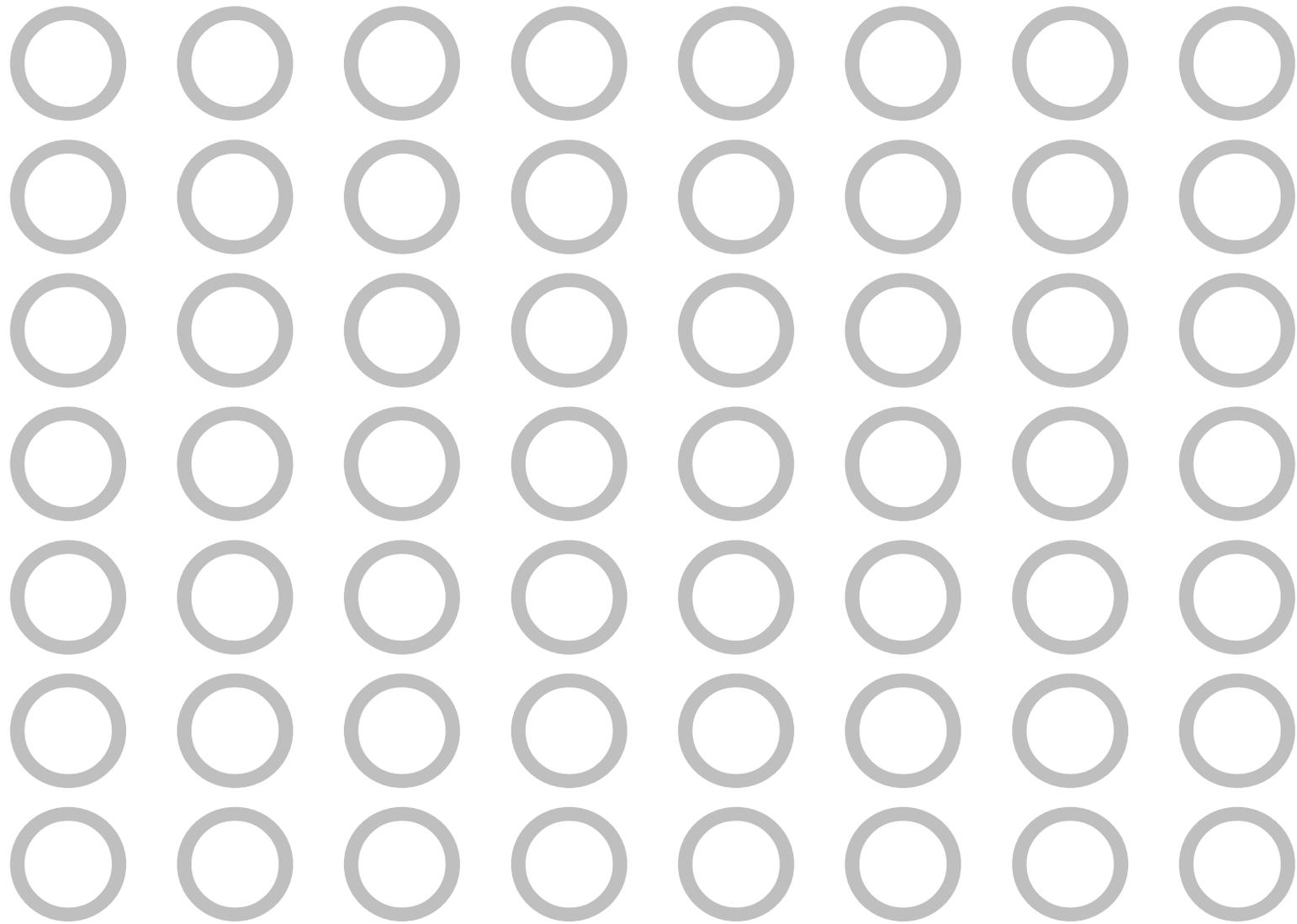
前回の復習です
どんどん自分でスライドを進めて
漢詩の形式を即答できるか試しましょう



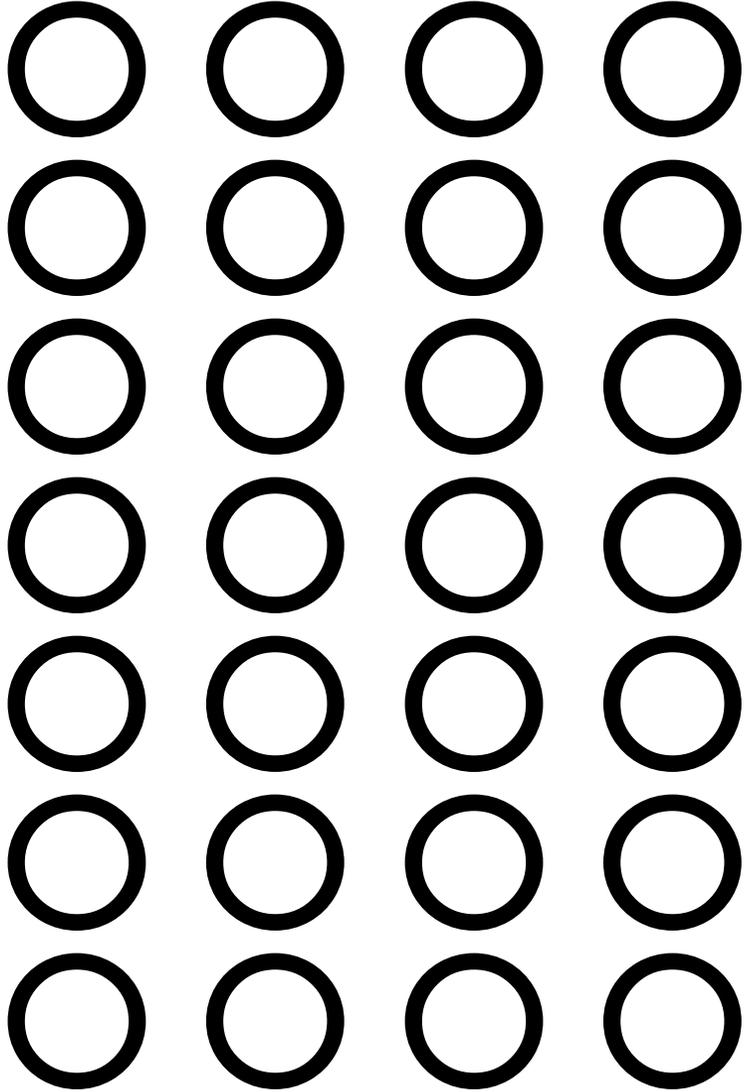


五言絶句（ごごんぜっく）

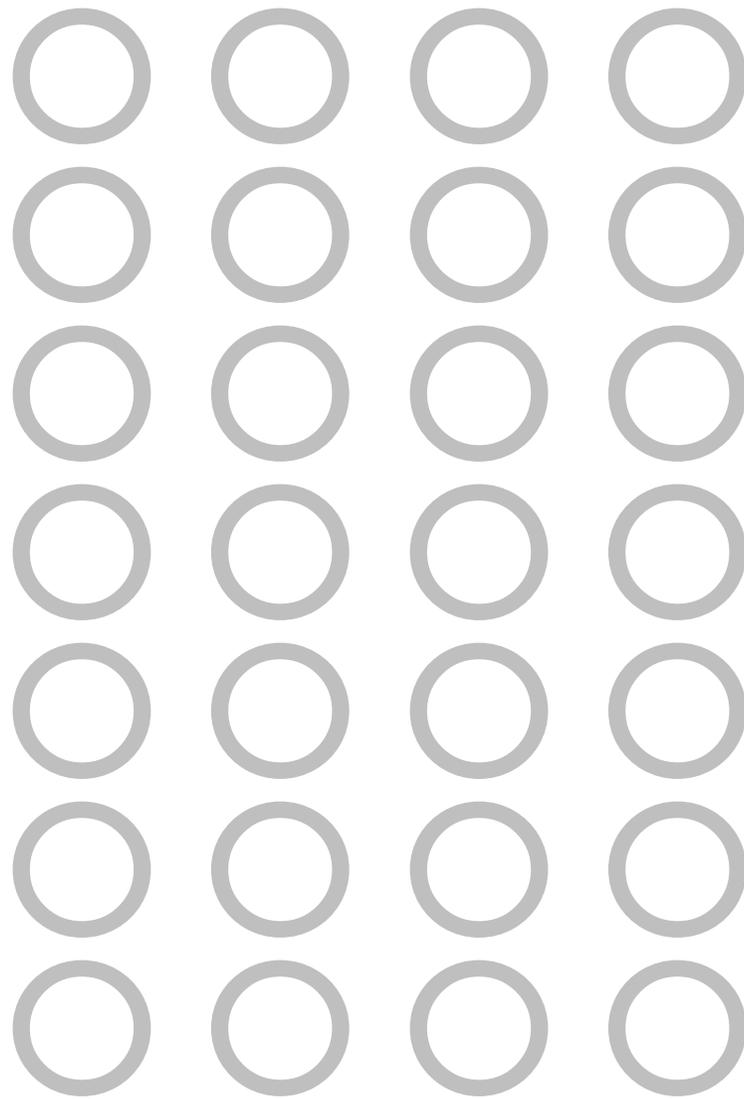


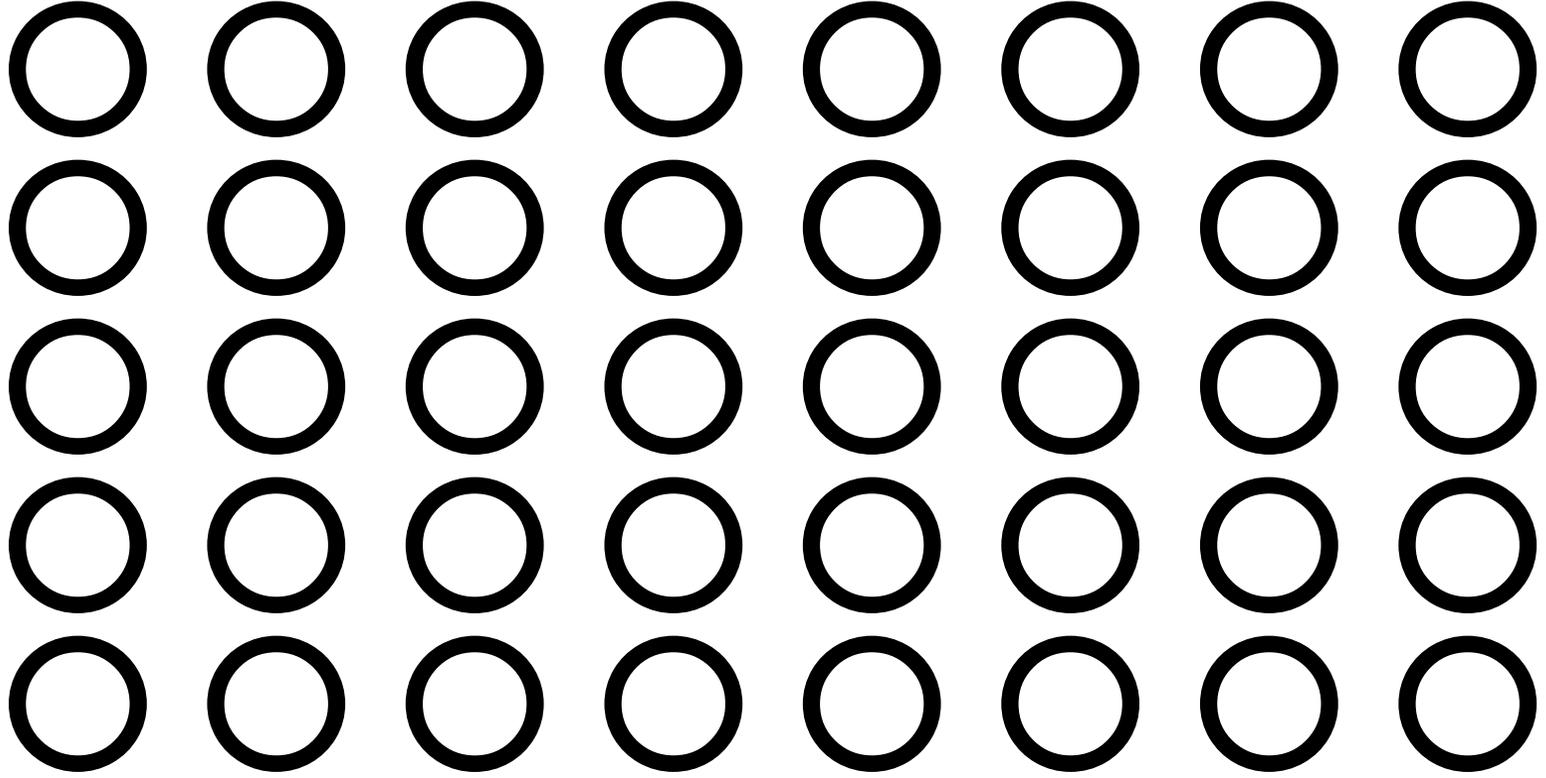


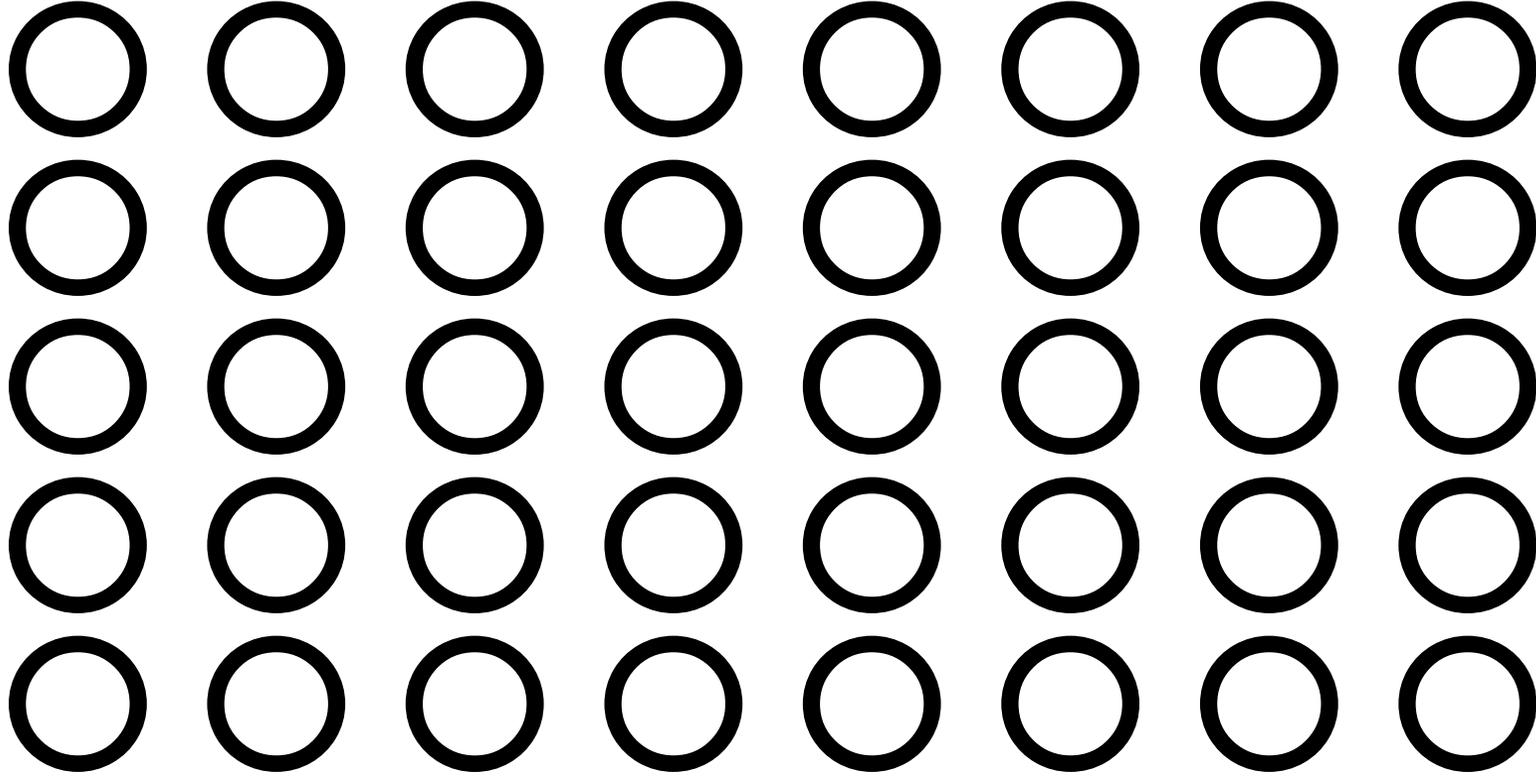
七言律詩 (しちごんりっし)



七言絶句
(しちごんぜっく)







五言律詩（ごごんりっし）

今日のゴールは
「書き下し文をつくることができる」です

必要な力は

- ① 返り点にしたがって読む力
 - ② カタカナをひらがなに直す力
- です

次の黄色いやつが課題カードです

まずは返り点の復習です

①「1」を決める

* 返り点のついてない字のうち1番上の文字

②矢印をひく

* 矢印はぜったい上向き

③矢印にしたがって読む

* 行きどまったら“矢印のささっていない文字のうち一番上の文字”から再スタート

これノートに写してやってみよう
困っている人は動画「返り点」参照

○○○○○

まず1を決めます

返り点のついてない字のうち、一番上のもの

返り点あり 

返り点あり 

返り点あり 

返り点なし 

返り点あり 

まず1を決めます

返り点のついてない字のうち、一番上のもの



次に矢印をひきます

レ点は

レ点をはさんで
すぐ下からすぐ上へ

一・二点は
一点から必ず二点へ



次に矢印をひきます

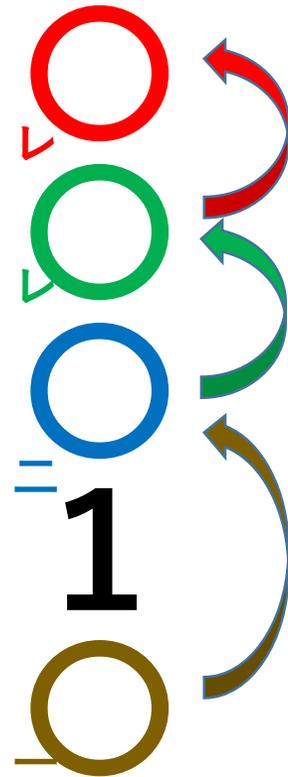
レ点は
レ点をはさんで
すぐ下からすぐ上へ

一・二点は
一点から必ず二点へ

赤のレ点をはさんでいる○と○
すぐ下からすぐ上へ

緑のレ点をはさんでいる○と○
すぐ下からすぐ上へ

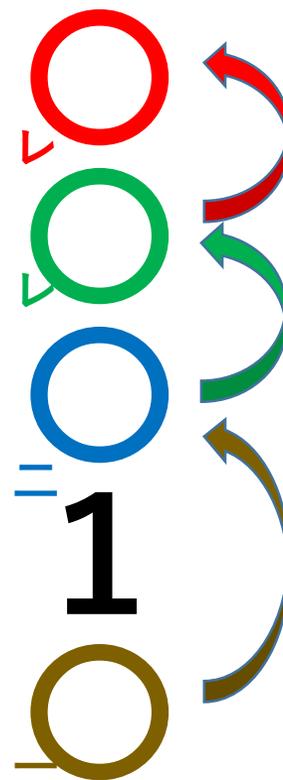
一点から二点へは
問答無用です



あとは
矢印にしたがって読みます

1のあとに
あっち行きなさい的な
矢印がついていません

そんなときは
矢印のささってない字から
再スタート



あとは
矢印にしたがって読みます

1のあとに
あっち行きなさい的な
矢印がついていません

そんなときは
矢印の

ささっていない字から再スタート

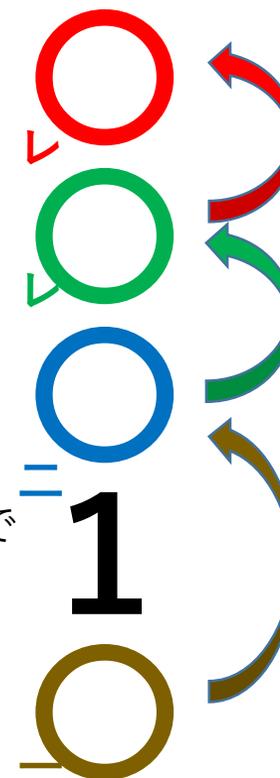
○：赤矢印がささっている

○：緑矢印がささっている

○：茶色矢印がささっている

1：もう数字が入っているので
気にしない

○：ささっていない！



あとは
矢印にしたがって読みます

1のあとに
あっち行きなさい的な
矢印がついていません

そんなときは
矢印の

ささっていない字から再スタート

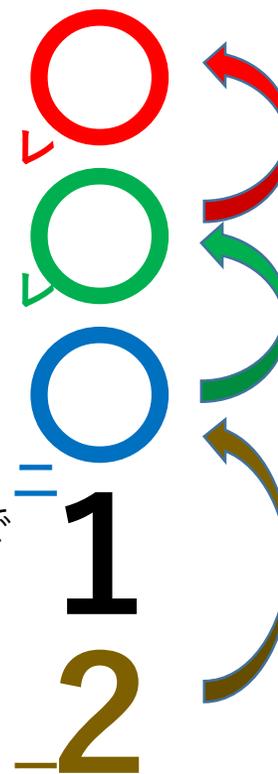
○：赤矢印がささっている

○：緑矢印がささっている

○：茶色矢印がささっている

1：もう数字が入っているので
気にしない

○：ささっていない！



あとは 矢印にしたがって読みます

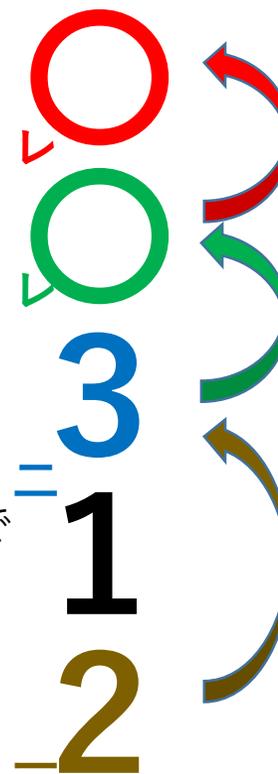
○：赤矢印がささっている

○：緑矢印がささっている

○：茶色矢印がささっている

1：もう数字が入っているので
気にしない

○：ささっていない！



あとは 矢印にしたがって読みます

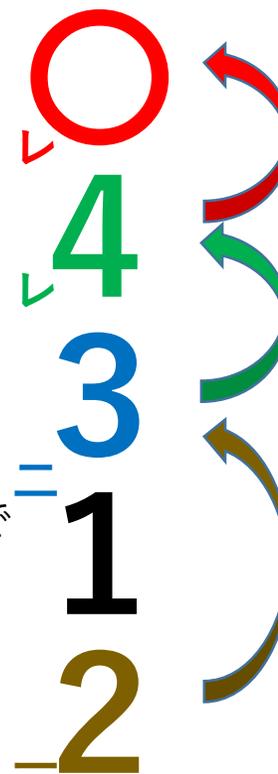
○：赤矢印がささっている

○：緑矢印がささっている

○：茶色矢印がささっている

1：もう数字が入っているので
気にしない

○：ささっていない！



あとは 矢印にしたがって読みます

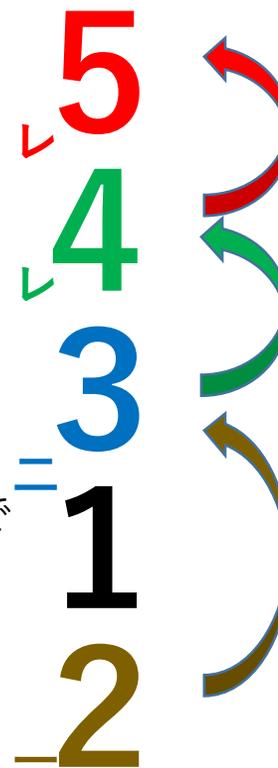
○：赤矢印がささっている

○：緑矢印がささっている

○：茶色矢印がささっている

1：もう数字が入っているので
気にしない

○：ささっていない！



ねんのため、もう1問
(次のスライドは答えです)

〇〇〇〇〇〇

ねんのため、もう 1 問の
こたえ

3
1
2
5
4

ではいよいよ「書き下し文」をつくります 漢文には3種類の文があります

白文…漢字だけ

王好戦

訓読文…白文+返り点+

送り仮名+句読点

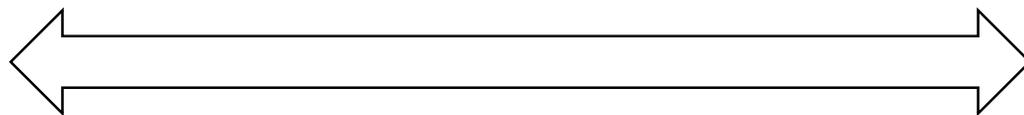
王好^ム戦^{ヒラ}。

書き下し文…日本語風

王戦ひを好む。

日本人にとって

やさしい



難しい

白文…漢字だけ

王好戦

訓読文…白文+返り点+

送り仮名+句読点

王好^ム戦^{ヒラ}

書き下し文…日本語風

王戦ひを好む。

1年の教科書のP.174に 詳しい説明があります

高校行くと白文から 書き下し文をつくる場合も あるけど、 中学ではそこまでいらぬ

訓読文を、書き下し文にします！

漢文を読む

「矛盾」の故事を収めた「韓非子」は、中国の古典であり、原文は次のように漢字だけで記されている。

吾盾之堅莫能陷也

漢字だけで書かれた中国の文章（漢文）を、日本語として読むことを訓読という。ここでは、「矛盾」の故事の一部を例に、基本的な訓読のしかたについて解説する。

訓読の方法

漢字だけで書かれた原文（白文という）に、送り仮名や句読点、読む順序を表す返り点を補い、日本語として読めるようにする。古典の言葉・仮名遣いを用いる。▶169 古典の言葉

● 送り仮名……漢字の送り仮名だけでなく、「て・に・を・は」などを補う。歴史的仮名遣いを用いる。訓読のときは、漢字の右下に片仮名で小さく書く。

● 返り点……読む順序を表す記号。漢字の並びを日本語の語順に入れかえるときに使う。漢字の左下に添える。

● レ点⇩下の一字から、すぐ上の一字に返って読む。
● 一・二点⇨二字以上を隔てて、上に返って読む。

● 句読点……「、」「。」など。原文の句や文の切れ目に補う。

白文

吾之曰吾盾之堅莫能陷也

漢文の訓読

（数字は返り点に従って読む順序を示す。）
① 吾之曰② 吾盾之堅③ 莫能陷也④
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪
⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

漢文を訓読し、漢字仮名交じりの文章に書き改めたものを書き下し文という。漢字は原則そのまま使い、送り仮名は平仮名で書く。ただし、「之」など、他の語に付く言葉は平仮名に改める。

書き下し文

之を誉めて曰はく、「吾が盾の堅きこと、能く陷すもの莫きなり。」と。

書き下し文の作り方

- ①読む順を決める
- ②送り仮名のカタカナをひらがなに直しながら書き写していく

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

恨_レ別_レ鳥_ニ驚_レ心_ヲ

書き下し文の作り方

①読む順を決める

これはさっき復習したので
かんたんですね
難しい漢字があっても
ただの記号だと思ってください

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

恨_レ別_レ鳥_レ驚_レ心_ヲ
ンデハ_レヲ_ニモ_カス

書き下し文の作り方

- ①読む順を決めると、こうなりますので、次の
- ②送り仮名のカタカナをひらがなに直しながら書き写していくだけです。

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

2 恨_レ ンデハ
1 別_レ レヲ
3 鳥 ニモ
5 驚_レ カス
4 心 ヲ

②送り仮名のカタカナを
ひらがなに直しながら
書き写していく

1 を写しました。
右下が送り仮名です。
ヲ = を って覚えてました？

別れを

2 恨 ンデハ
1 別 レヲ
3 鳥 ニモ
5 驚 カス
4 心 ヲ

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

②送り仮名のカタカナを
ひらがなに直しながら
書き写していく

2も写しました。

うっかりさんはオレンジ的に
写した文字は消していくと
いいかもしれません。

次全部行きますよ

別れを恨んでは

~~2恨~~
~~1別~~
3鳥
5驚
4心

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

②送り仮名のカタカナを
ひらがなに直しながら
書き写していく

こうなります。
日本語っぽくなりましたね

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

~~2 恨~~
~~1 別~~
3 鳥
~~5 驚~~
4 心

別れを恨んでは
鳥にも心を驚かす

課題を解くまえにもう 1 問

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

王不_レ好_マ戦_ヒ。_ヲ

課題を解くまえにもう 1 問

- ①読む順を決める
…これはかんたん。
- ②書き写す
…ここでひっかけが

1 王
4 不_レず
3 好_マ
2 戦_{ヒラ}。

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

課題を解くまえにもう 1 問

2 まで写したつもりですが
この時点でミスがあります

こたえは次のスライド

王戦いを

1

4

3

2

王

不

好

戦

ず

マ

ヒラ

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

歴史的仮名遣い「ヒ」を
現代仮名遣い「い」に
直してしまっていますね

書き下し文のルール②は
「書き写す」ですので、
歴史的仮名遣いは
直しません！
そのまま写します！

王
戦
い
を

1 王
4 不^ず
3 好^マ
2 戦^{トラ}

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

これが正しい
ついでに3番目の文字まで
書き写しておきました

さて、4の「不」に
なんかふりがなが
ふってありますね

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

1 王
4 不^ず
3 好^マ
2 戦^ラ

王戦ひを好ま

これ「不」は「ず」に直してね、という意味です

設問に「不＝ず」

(「不＝ざ」のこともあり) と書いてある場合もあります

日本語に直したときに助動詞や助詞になる文字はひらがなに直すというルールがあり、「不」以外にもいろいろあります。高校ではそれも自分で見分ける必要が出てきますが、中学範囲・少なくとも石川県内の高校入試では、それらが出題されたことはありません。

王戦ひを好ま

1 王
4 不^ず
3 好^マ
2 戦^{トラ}

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

そういうわけで、
こうなります。

注意点は

- ・ 歴史的仮名遣いは直さずにとにかく写す
- ・ 「不」はひらがなに直すことが多い（ず・ざ）

王戦ひを好ま^ず

1 王
4 不^ず
3 好^マ
2 戦^{ヒラ}

次の訓読文を書き下し文にしなさい。

解説はここまでです

ミライシードの人は黄色いカードで
HPの人はformsのリンクを踏んで
それぞれ今日の課題の答えを作しましょう
意欲ある人は次の適用問題を解いてみてください

書き下し文の作り方を再確認したい人は
動画「書き下し文」を参照

適用問題

次の訓読文を、
書き下し文に直しなさい。

（「不」レ不_レ）

百聞_ハ不_ズ如_カ一見_ニ